

平成28年12月13日
溶学研第28-43号

委員各位

一般社団法人 溶接学会
軽構造接合加工研究委員会
委員長 芹澤 久
JIW第3委員会
委員長 芹澤 久
(公印省略)

開催通知

第116回軽構造接合加工研究委員会を下記の通り開催いたしますので、各位お繰合せの上、ご出席下さいますようにご案内申し上げます。なお、ご出欠は回答欄にご記入の上、e-mail(s_kogure@tt.rim.or.jp)にて、事務局に平成29年1月11日(水)までにお知らせ下さい。

記

1. 日時

平成29年 1月 18日(水) 10:30～16:45

2. 場所

キャンパス・イノベーションセンター東京 1階 国際会議室 (東京・田町)
(案内図をご参照下さい) 住所:東京都港区芝浦3-3-6

3. テーマ

接合プロセスの監視、制御、品質管理及び生産システムの最適化

4. 幹事会のお知らせ

昼食休憩時に幹事会を開催いたしますので、役員および幹事(または代理)の方はご参集下さいますようお願い申し上げます。
会場は当日ご案内いたします。

☆出席人数が一事業所2名を越えますときは、3人目から、資料費として1名につき2,000円を納入願います。なお、その場合は、あらかじめ返信メールにてお知らせ下さい。

☆昼食は、各自ご用意下さい。

第116回 軽構造接合加工研究委員会プログラム

－接合プロセスの監視、制御、品質管理及び生産システムの最適化－

1. 日時:平成29年1月18日(水)10:30～16:45
2. 場所:キャンパスイノベーションセンター東京(CIC東京)1階 国際会議室
3. プログラム(都合により若干変更される場合がありますので、予めご了承をお願い申し上げます。)

時間	題 目	講 演 者
10:30 ～ 11:15	軽構造接合Key Technologyとしての「電子ビーム溶接」再考 (MP-614-2016)	BODYCOTE TECHMETA 丸紅テクノシステム株式会社名古屋支店 ○後藤克己
	電子ビーム溶接機・メーカー関係者として、構造接合軽量化に関連する過去及び最近の重要な適用事例をレビューし、併せ電子ビーム溶接の技術的特性、優位性の基本を整理して、之を基に、更なる今後の適用拡大の可能性について論ずる。	
11:15 ～ 12:00	海外の抵抗溶接機メーカーでの抵抗溶接品質 及び生産管理方法 (MP-615-2016)	愛知産業株式会社 ○大石候多
	海外(欧州)での抵抗溶接機メーカーの用途別品質管理の方法。溶接条件管理・溶接後の品質管理・生産時のライン停止時間の短縮方法等弊社が取引をしている海外のメーカー製品を例にして、どの様な方法で品質を向上させる提案をしているのかをお話させていただきます。	
12:00 ～ 13:10	昼食および休憩(幹事会の開催)	
13:10 ～ 13:30	委員会(軽構造接合加工研究委員会・JIW委員会) 議事	
13:30 ～ 14:15	溶接可視化技術の動向 (MP-616-2016)	カトウ光研株式会社 ○加藤竹朝
	溶接中のシールドガス可視化など計測技術や製品ご紹介	
14:15 ～ 15:00	赤外線サーモグラフィによる溶接・接着・継合部の非破壊検査 (MP-617-2016)	株式会社ケン・オートメーション ○高尾邦彦
	アクティブサーモグラフィを用いた非接触・非破壊による溶接品質、欠陥検査手法の構築	
15:00 ～ 15:15	休 憩	
15:15 ～ 16:00	航空・宇宙軽量構造の非破壊検査 (MP-618-2016)	国立研究開発法人 宇宙航空研究開発機構 ○松嶋正道
	航空機や宇宙機の軽量を目的とした構造部材としてCFRPが多く適用されています。しかし、金属材料と比較して損傷形態が複雑であり特種な検査法が用いられている、これらの実例を示すとともに解説します。	
16:00 ～ 16:45	ポジティブアンカーによる金属とプラスチックの直接接合 (MP-619-2016)	輝創株式会社 ○前田知宏 名古屋大学 小橋 眞
	レーザーラッピングを利用したPMS処理により金属表面に合金化した隆起微細構造を形成し、プラスチックとの接合層とすることで簡単に金属とプラスチックの強力な直接接合を可能にすることができます。本発表では隆起微細構造を接合層として利用するポジティブアンカーによる接合方法と、その形成方法を紹介します。	

※○:講演者